

校長室だより第 9 号（令和 8 年 5 月 25 日）

『模擬選挙』

5 月 21 日（木）。小倉小学校の体育館は、選挙会場となりました。市役所の方、弁護士の方が訪れ、本物の道具（投票台や投票箱など）を設定してくれました。

5・6 年生の社会科の勉強で、選挙の体験（模擬選挙）をするためです。18 歳から選挙権があるので、6・7 年後には有権者となるのです。だから、そのための学習が必要なのです。

模擬選挙では『小倉市長を選ぶ』という設定の下、3 人の方が立候補しました。3 人とも小倉市をよくするために、市民である 5・6 年生に向けて演説を行いました。論点をわかりやすくするために学校の敷地くらいの広さの土地（約 1 ha）をどのように活用するのかについて話してくれました。

候補者 1 山田あおい氏

日本有数の知的都市を目指します。

大きな図書館を作り、市民の皆様が様々な情報に触れ、文化的な生活が送れるようにします。図書館があれば、心と教養が豊かになります。

候補者 2 田中はる氏

医療充実!! 安全都市宣言!!

総合病院を作ります。小さなお子様からご年配の方までが安心・安全に過ごすことができるやさしい街を作ります。

候補者 3 鈴木ゆう氏

ゆとりを感じることができる街を作ります。

家族でゆったり過ごすことができる総合公園を作ります。たくさんの緑に囲まれたゾーン、アスレチックゾーン、スケボーゾーンなどを作り、市民の皆様の心に『ゆとり』が生まれる街を目指します。

3 人の候補共にすばらしい演説でした。子どもたちも真剣に耳を傾けました。余談とな

りますが、3人とも弁護士さんが演じていたそうです。すばらしい演技力！

演説を聞き、質問タイムを経て、いよいよ投票です。子どもたちは、自分が市長にふさわしいと感じた候補者の名前を投票用紙に記述します。この投票用紙も選挙で実際に使われるものと同じです。紙を折って投票しても、箱の中で自然と広がる性質を持っています。

投票箱のカギを開け、投票された用紙を机の上に広げ、スタッフが候補者ごとに用紙を分けていきます。間違いがないかを数人で確認し、集計マシーンにセットするとあっという間に得票数がわかります。その様子は実際の選挙と同じです。

開票の結果、〇〇候補が小倉市長となりました。おめでとうございます。

候補者の中から、最も市長にふさわしい方を、自分の基準で選ぶことはとても大切なことだと思います。よい体験をすることができました。